

2014年1月～2019年12月に当院にて中咽頭前壁癌に対し舌正中アプローチと舌弁後方移動術による再建を受けた方へ  
研究：「中咽頭前壁癌に対する舌正中アプローチと舌弁後方移動術による再建についての検討」の実施について

1. 研究の対象

2014年1月1日から2019年12月31日に当科で手術した中咽頭前壁癌患者さんのうち、データを収集可能な3名の方

2. 研究目的・方法

中咽頭前壁へのアプローチ方法は口内法、頸部外切開、下顎骨離断の3種がありますが、それぞれ利点・欠点があります。口内法は視野が狭く、頸部外切開は嚥下機能の低下や縫合不全のリスクがあり、下顎骨離断については侵襲性と整容面で問題が生じます。いずれを選択するにせよ、中咽頭前壁は他の頭頸部領域と比較し術野が得られにくく、嚥下機能や構音機能、整容面など術後の問題点も多岐に渡ります。今回、舌正中アプローチと舌弁後方移動術での再建を行った患者さんの嚥下機能・構音機能等を評価し、その有用性について検討をします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテより年齢、性別、血液検査データ、画像検査所見、組織型、病期、リンパ節転移の有無、治療経過、術式、術後経過(嚥下機能・構音機能を含む)等データを抽出します。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間は当院実施承認後～2021年3月末、予定症例数は当院で該当する3例の症例を見込んでいます。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表予定です。

6. 個人情報の取り扱いについて

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を使用します。また、研究用の番号とあなたの名前を結びつける対応表を作成し、研究責任者が責任を

もって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にも個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

7. 外部への試料・情報の提供

データは当院のパスワード管理されたPCに保管します。データの移動は特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当院の研究責任者が保管・管理します。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究機関】 国立病院機構 四国がんセンター 頭頸科・甲状腺腫瘍科  
【研究責任者】 秋定 直樹  
【連絡先】 〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160  
国立病院機構 四国がんセンター 頭頸科 秋定直樹  
TEL: 089-999-1111 (代表)  
FAX: 089-999-1128

研究代表者:

四国がんセンター 頭頸科 秋定直樹

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい

以上